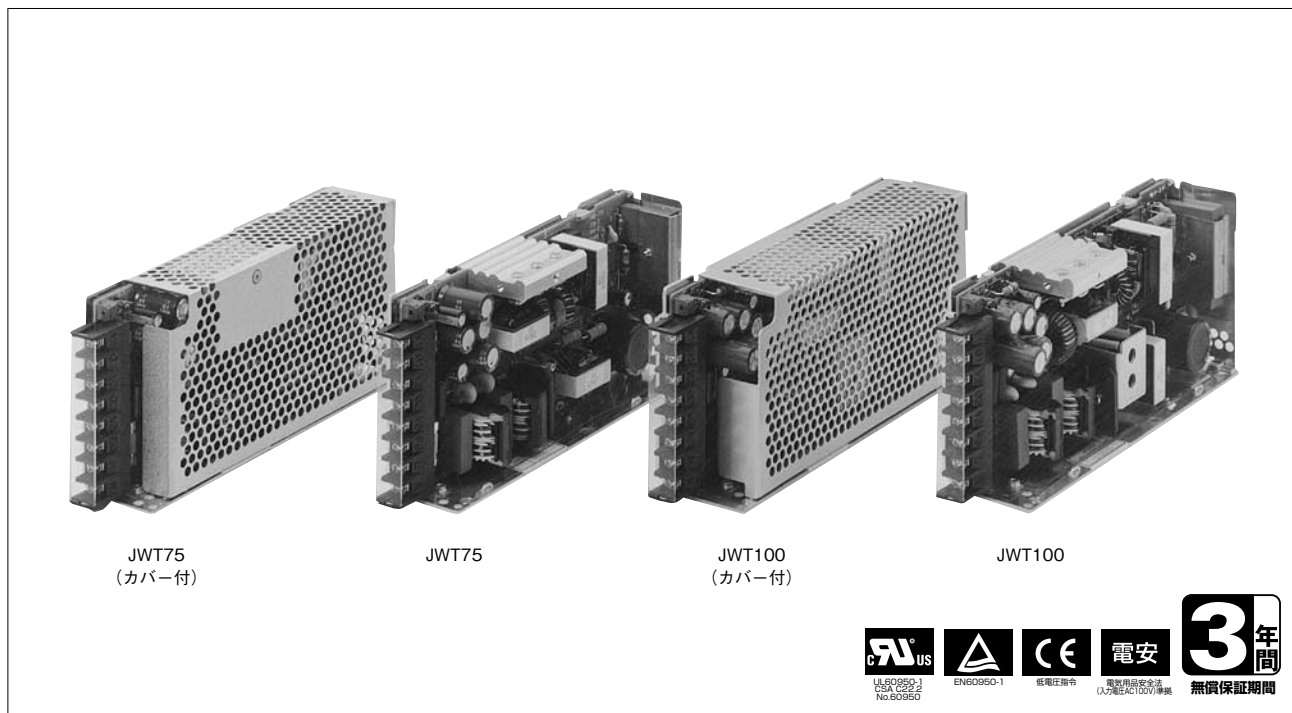


# JWT SERIES

三出力 75W, 100W

三出力  
基板



## ■ 特長

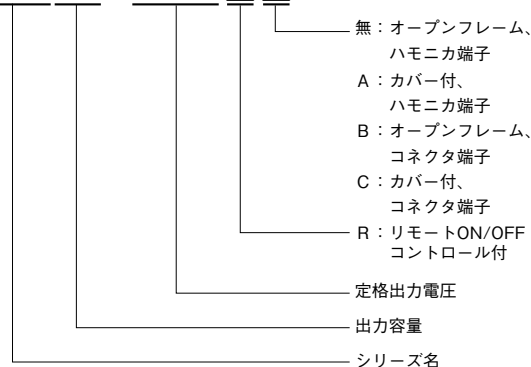
CEマーキング適合

高調波電流規制対応

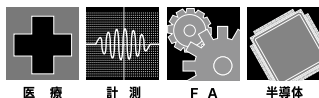
- 100V/200V系ワイド入力 マルチ出力 ローコストタイプ
- FA産業用設備から化学分析装置など幅広い用途に対応
- リモートON/OFFコントロール：オプション対応

## ■ 型名称呼方法

JWT75-522/□□



## ■ 用途



## ■ RoHS指令対応

EU Directive 2002/95/ECにもとづき、免除された用途を除いて、鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、および特定臭素系難燃剤のPBB、PBDEを使用していないことを表します。

## ■ 製品ラインアップ

出力電圧	75W						100W						
	出力電流/型名		出力電流/型名		出力電流/型名		出力電流/型名		出力電流/型名		出力電流/型名		
+5V	8.0A	JWT75-522	8.0A	JWT75-5FF	8.0A	JWT75-525	13A	JWT100-522	13A	JWT100-5FF	13A	JWT100-525	
-5V	-		-		0.5A		-		-		-		1A
+12V	4.0A		-		4.0A		-		5.5A		-		5.5A
-12V	0.5A		-		-		-		1A		-		-
+15V	-		3.2A		-		-		-		4.5A		-
-15V	-		0.5A		-		-		-		1A		-

## JWT75仕様規格 (ご使用前にご覧ください)

仕様項目・単位	型名	JWT75-522			JWT75-5FF			JWT75-525					
		CH	1	2	3	1	2	3	1	2	3		
入力	電圧範囲 (*3)	V	AC85 ~ 265 または DC120 ~ 330										
	周波数範囲 (*3)	Hz	47 ~ 63										
	力率 (100/200VAC) typ (*2)		0.99 / 0.93										
	効率 typ (*2)	%	72										
	電流 (100/200VAC) typ (*2)	A	1.2 / 0.6										
	サージ電流 (100/200VAC) typ (*2)(*4)	A	14 / 28 (Ta=25°C、コールドスタート時)										
	漏洩電流 (*11)	mA	0.75 以下 (100 / 230VAC 時: 0.2 / 0.44 typ)										
出力	定格電圧	VDC	5	+12	-12	5	+15	-15	5	+12	-5		
	最小電流 (*1)	A	0.8	0			0.8	0			0.8	0	
	最大電流	A	8.0	4.0	0.5	8.0	3.2	0.5	8.0	4.0	0.5		
	最大電力	W	40	48	6.0	40	48	7.5	40	48	2.5		
	総合最大電力	W	75										
	電圧設定精度	%	-	±5			-	±5			-	±5	
	最大入力変動 (*6)	mV	20	48			20	60			20	48	20
	最大負荷変動 (*7)	mV	40	100	150	40	120	150	40	100			
	最大温度変動		V1, V2 : 0.02% / °C以下、V3 : 0.03% / °C以下										
	リップルノイズ (0 ~ +65°C) (*5)	mVp-p	120	150			120	150			120	150	
	リップルノイズ (-10 ~ 0°C) (*5)	mVp-p	160	180			160	180			160	180	
	保持時間 typ (*10)	ms	20										
	電圧可変範囲	VDC	5.0 ~ 5.25	固定			5.0 ~ 5.25	固定			5.0 ~ 5.25	固定	
	機能	過電流保護 (*8)		105%以上									
過電圧保護 (*9)		VDC	5.7 ~ 7.0	-			5.7 ~ 7.0	-			5.7 ~ 7.0	-	
並列運転			なし										
直列運転			なし										
環境	動作温度 (*12)	°C	-10 ~ +65 (-10 ~ +50 : 100%、+65 : 50%)										
	保存温度	°C	-30 ~ +85										
	動作湿度	%RH	30 ~ 90										
	保存湿度	%RH	10 ~ 95										
	耐振動		非動作時 10 ~ 55Hz (掃引1分間) 19.6m/s <sup>2</sup> 一定 X、Y、Z各方向1時間										
	耐衝撃 (梱包時)		196.1m/s <sup>2</sup> 以下										
	冷却方式		自然空冷										
絶縁	耐電圧		入力- FG 間: 2kVAC (20mA) 1分間、入力-出力間: 3kVAC (20mA) 1分間、出力- FG 間: 500VAC (100mA) 1分間										
	絶縁抵抗		100M Ω以上 (出力- FG 間: 500VDC、25°C、70% RH)										
適応規格	安全規格 (*13)		UL60950-1、CSA C22.2 No.60950-1、EN60950-1 各認定 電気用品安全法 準拠										
	高調波入力電流規制		EN61000-3-2 準拠										
	雑音端子電圧、雑音電界強度		EN55011/EN55022-B、FCC-B、VCCI-B 各準拠										
構造	質量 typ	g	600										
	サイズ (W × H × D)	mm	42 × 92 × 188 (外観図参照)										
標準価格 (税別)		円	12,000										

- (\*1) V1の最小出力電流をとることにより、全出力が安定します。  
(\*2) 入力電圧100/200VAC、Ta = 25°C、最大出力電力時の値です。  
(\*3) 各種安全規格 (UL、CSA、EN) 申請時の入力電圧範囲、入力周波数範囲は「100 ~ 240VAC、50/60Hz」です。  
(\*4) パワーサーミスタ方式です。再投入時や温度により制限値が異なります。  
内蔵ノイズフィルタへの入力サージ電流 (0.2ms以下) は除きます。  
(\*5) JEITA規格RC-9131Aに準じた測定方法です。(100MHz)  
(\*6) 85 ~ 265VAC、負荷一定時の値です。  
(\*7) 最小負荷 ~ 全負荷、入力電圧一定時の値です。  
(\*8) 定電流電圧垂下方式自動復帰型です。  
(\*9) 出力遮断方式手動リセット型です。(入力再投入で出力が復帰します。)  
(\*10) 入力電圧100/200VAC、定格出力電圧、最大総合出力電力時の値です。  
(\*11) UL、CSA、ENおよび電気用品安全法準拠 (60Hz)、Ta=25°Cの測定値です。  
(\*12) 標準取付時のディレーティング値です。  
負荷 (%) は、最大出力電力または最大出力電流いずれか大きい方の値です。  
その他の取付方法については、ディレーティングカーブをご参照ください。  
(\*13) 電気用品安全法には、100VAC時に準拠しています。

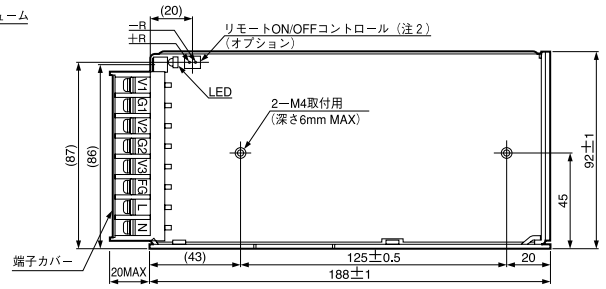
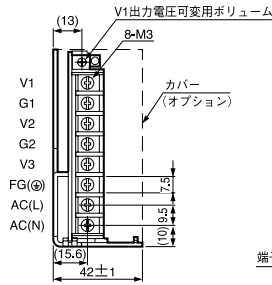
## ●推奨ノイズフィルタ



RSEL-2002W  
『TDK-Lambda EMC Filters』  
カタログをご参照下さい。

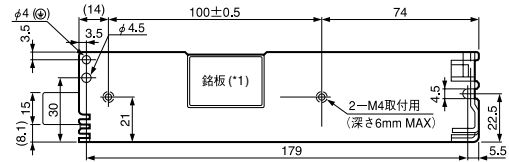
# 外觀図

## 【JWT75】 (ハモニカ端子タイプ)



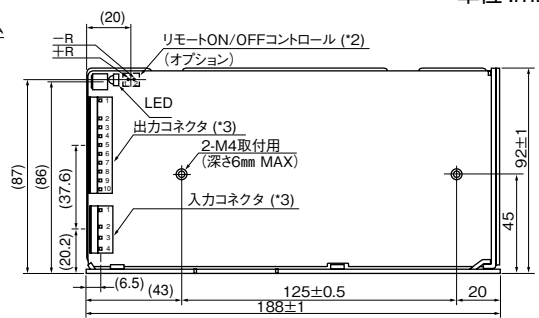
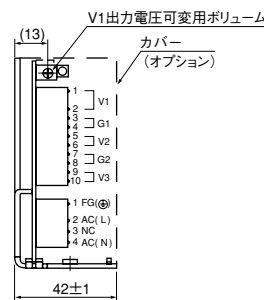
●付属品

端子カバー	1
-------	---



単位:mm

## (コネクタタイプ)



●材質

基板	ガラスコンポジット材 CEM-3 (UL94V-0)
----	----------------------------

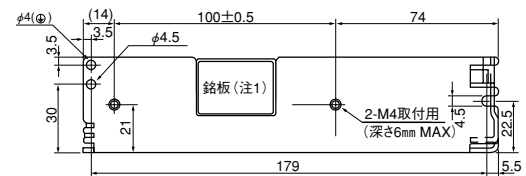
(\*1)型名・定格入力・定格出力および製造国名が表示されます。

(\*2) 使用コネクタ：日本圧着端子

使用コネクタ	B2B-XH-AM
ハウジング(添付品)	XHP-2
ターミナルピン(添付品)	BXH-001T-P0.6 または SXH-001T-P0.6

(*3) 使用コネクタ：モレックス	ハウジング	ターミナルピン	
入力側コネクタ	5289-4A	5199-04	5194PBT
出力側コネクタ	5277-10A	5196-10	5194PBT

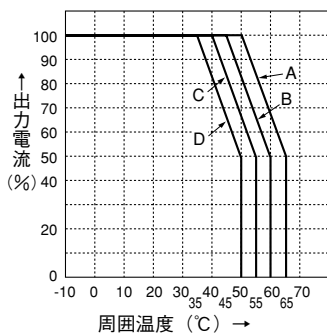
※ハウジング・ターミナルピンは製品に添付されています。



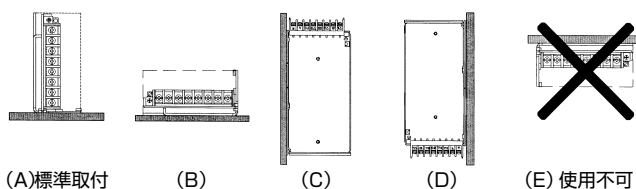
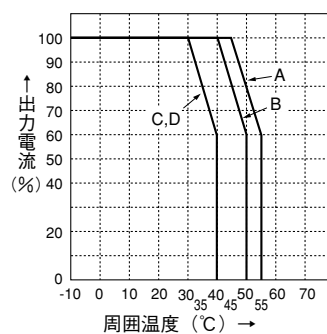
単位:mm

# 取付方法による出力ディレーティング

出力ディレーティング (カバーなし)



出力ディレーティング (カバー付)



(A)標準取付 (B) (C) (D) (E)使用不可

電源の実装時は、標準取付方法(A)をお勧めします。取付方法(B)、(C)も可能です。取付方法(E)は基板が上面となり、電源内部に熱がこもるため、使用できません。取付方法(D)はJWT75では可能ですが、JWT100では使用できません。これらは電源周囲温度による出力ディレーティング値内でご使用下さい。出力ディレーティング値は、定格出力電圧値における最大出力電流値を100%としています。

## JWT100仕様規格 (ご使用前にご覧ください)

仕様項目・単位	型名	JWT100-522			JWT100-5FF			JWT100-525					
		CH	1	2	3	1	2	3	1	2	3		
入力	電圧範囲 (*3)	V	AC85 ~ 265 または DC120 ~ 330										
	周波数範囲 (*3)	Hz	47 ~ 63										
	力率 (100/200VAC) typ (*2)		0.99 / 0.93										
	効率 typ (*2)	%	72										
	電流 (100/200VAC) typ (*2)	A	1.4 / 0.7										
	サージ電流 (100/200VAC) typ (*2)(*4)	A	14 / 28 (Ta=25°C、コールドスタート時)										
	漏洩電流 (*11)	mA	0.75 以下 (100 / 230VAC 時: 0.2 / 0.44 typ)										
出力	定格電圧	VDC	5	+12	-12	5	+15	-15	5	+12	-5		
	最小電流 (*1)	A	1.3	0			1.3	0			1.3	0	
	最大電流	A	13	5.5	1	13	4.5	1	13	5.5	1		
	最大電力	W	65	66	12	65	68	15	65	66	5		
	総合最大電力	W	100										
	電圧設定精度	%	-	±5			-	±5			-	±5	
	最大入力変動 (*6)	mV	20	48			20	60			20	48	20
	最大負荷変動 (*7)	mV	40	100	150	40	120	150	40	100			
	最大温度変動		V1,V2 : 0.02% /°C以下、V3 : 0.03% /°C以下										
	リップルノイズ (0 ~ +50°C) (*5)	mVp-p	120	150			120	150			120	150	
	リップルノイズ (-10 ~ 0°C) (*5)	mVp-p	160	180			160	180			160	180	
	保持時間 typ (*10)	ms	20										
	電圧可変範囲	VDC	5.0 ~ 5.25	固定			5.0 ~ 5.25	固定			5.0 ~ 5.25	固定	
	機能	過電流保護 (*8)		105%以上									
過電圧保護 (*9)		VDC	5.7 ~ 7.0	-			5.7 ~ 7.0	-			5.7 ~ 7.0	-	
並列運転			なし										
直列運転			なし										
環境	動作温度 (*12)	°C	-10 ~ +65 (-10 ~ +50 : 100%、+65 : 50%)										
	保存温度	°C	-30 ~ +85										
	動作湿度	%RH	30 ~ 90										
	保存湿度	%RH	10 ~ 95										
	耐振動		非動作時 10 ~ 55Hz (掃引1分間) 19.6m/s <sup>2</sup> 一定 X、Y、Z各方向1時間										
	耐衝撃 (梱包時)		196.1m/s <sup>2</sup> 以下										
絶縁	冷却方式		自然空冷										
	耐電圧		入力- FG 間: 2kVAC (20mA) 1分間、入力-出力間: 3kVAC (20mA) 1分間、出力- FG 間: 500VAC (100mA) 1分間										
適応規格	絶縁抵抗		100M Ω以上 (出力- FG 間: 500VDC、25°C、70% RH)										
	安全規格 (*13)		UL60950-1、CSA C22.2 No.60950-1、EN60950-1 各認定 電気用品安全法 準拠										
	高調波入力電流規制		EN61000-3-2 準拠										
	雑音端子電圧、雑音電界強度		EN55011/EN55022-B、FCC-B、VCCI-B 各準拠										
構造	質量 typ	g	720										
	サイズ (W × H × D)	mm	48 × 92 × 203 (外観図参照)										
標準価格 (税別)	円	14,000											

(\*1) V1の最小出力電流をとることにより、全出力が安定します。

(\*2) 入力電圧100/200VAC、Ta = 25°C、最大出力電力時の値です。

(\*3) 各種安全規格 (UL、CSA、EN) 申請時の入力電圧範囲、入力周波数範囲は「100 ~ 240VAC、50/60Hz」です。

(\*4) パワーサーミスタ方式です。再投入時や温度により制限値が異なります。内蔵ノイズフィルタへの入力サージ電流 (0.2ms以下) は除きます。

(\*5) JEITA規格RC-9131Aに準じた測定方法です。(100MHz)

(\*6) 85 ~ 265VAC、負荷一定時の値です。

(\*7) 最小負荷 ~ 全負荷、入力電圧一定時の値です。

(\*8) 定電流電圧垂下方式自動復帰型です。

(\*9) 出力遮断方式手動リセット型です。(入力再投入で出力が復帰します。)

(\*10) 入力電圧100/200VAC、定格出力電圧、最大総合出力電力時の値です。

(\*11) UL、CSA、ENおよび電気用品安全法準拠 (60Hz)、Ta=25°Cの測定値です。

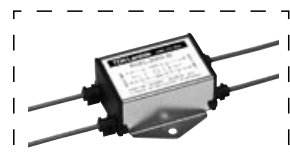
(\*12) 標準取付時のディレーティング値です。

負荷 (%) は、最大出力電力または最大出力電流いずれか大きい方の値です。

その他の取付方法については、ディレーティングカーブをご参照ください。

(\*13) 電気用品安全法には、100VAC時に準拠しています。

## ●推奨ノイズフィルタ

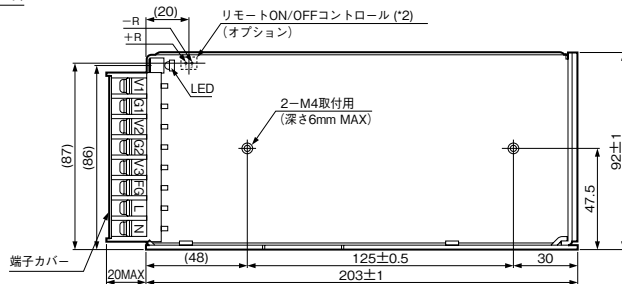
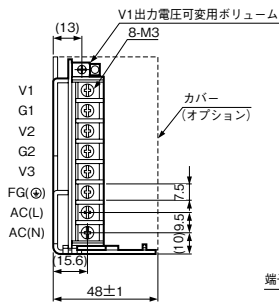


RSEL-2002W

『TDK-Lambda EMC Filters』  
カタログをご参照下さい。

# 外觀図

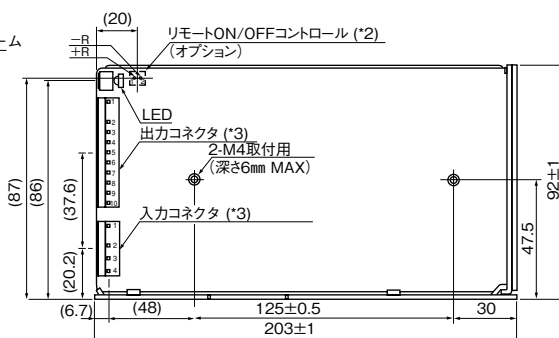
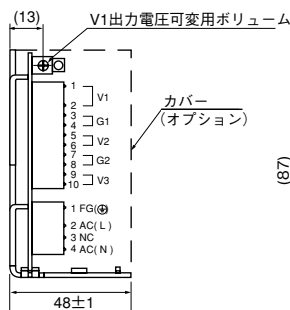
## 【JWT100】 (ハモニカ端子タイプ)



●付属品

端子カバー	1
-------	---

## (コネクタタイプ)



●材質

基板	ガラスコンポジット材 CEM-3 (UL94V-0)
----	----------------------------

(\*1) 型名・定格入力・定格出力および製造国名が表示されます。

(\*2) 使用コネクタ：日本圧着端子

使用コネクタ	B2B-XH-AM
ハウジング(添付品)	XHP-2
ターミナルピン(添付品)	BXH-001T-P0.6 または SXH-001T-P0.6

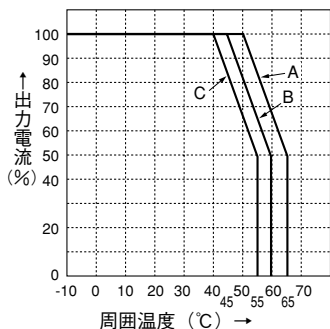
(\*3) 使用コネクタ：モレックス

	ハウジング	ターミナルピン
入力側コネクタ	5289-4A	5199-04
出力側コネクタ	5277-10A	5196-10

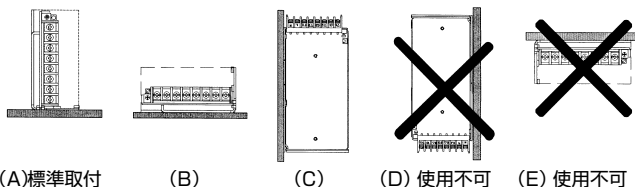
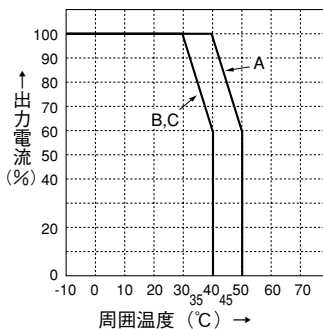
※ハウジング・ターミナルピンは製品に添付されています。

# 取付方法による出力ディレーティング

出力ディレーティング (カバーなし)



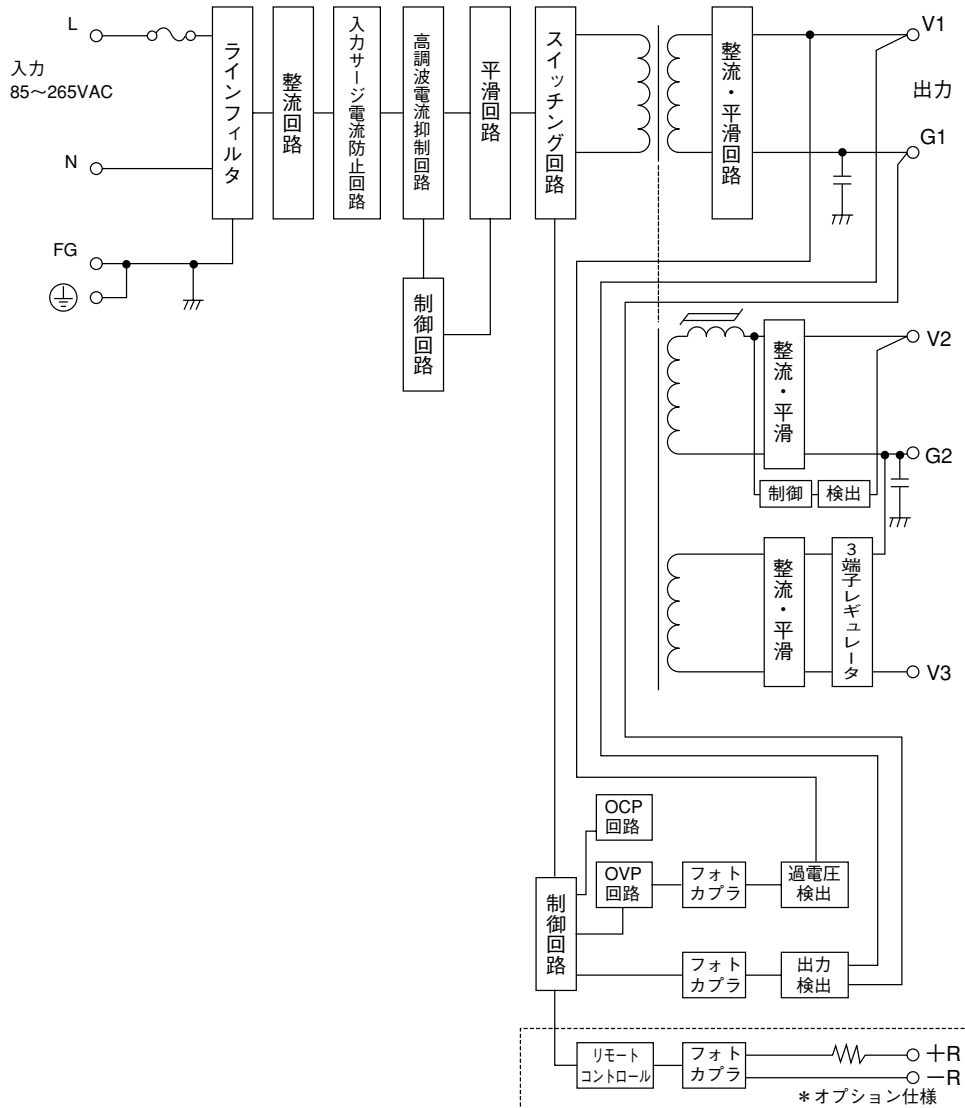
出力ディレーティング (カバー付)



電源の実装時は、標準取付方法(A)をお勧めします。取付方法(B)、(C)も可能です。取付方法(E)は基板が上面となり、電源内部に熱がこもるため、使用できません。取付方法(D)はJWT75では可能ですが、JWT100では使用できません。これらは電源周囲温度による出力ディレーティング値内でご使用下さい。出力ディレーティング値は、定格出力電圧値における最大出力電流値を100%としています。

ブロックダイアグラム

【JWT75, JWT100】



- 回路方式・発振周波数  
 スイッチング回路：シングルエンディッドフォワード方式140kHz（固定）  
 高調波電流抑制回路：アクティブフィルタ方式90kHz（固定）
- ヒューズ容量 JWT75、JWT100：3.15A

# JWT シリーズ取扱説明

## ご使用前に

本製品をご使用にあたって、本取扱説明書を必ずお読み下さい。注意事項を十分に留意の上、ご使用下さい。ご使用方法を誤ると感電、損傷、発火などの恐れがあります。

### 警告

- 内部の部品には、高圧及び高温の箇所があります。触れないで下さい。
- 触れると感電や火傷の恐れがあります。
- 通電中は、顔や手を近づけないで下さい。不測の事態により、けがをする恐れがあります。

### 注意

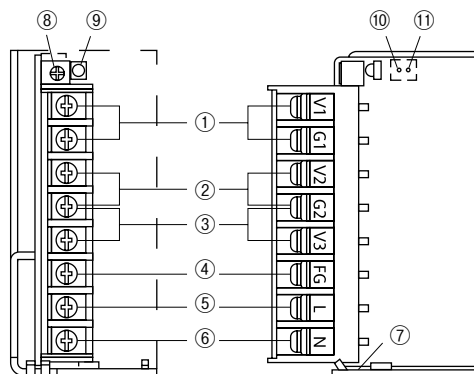
- 本製品は、電子機器組込み用に設計・製造されたものです。
- 30秒以上の過電流・短絡状態での動作はお避け下さい。電源の破損・絶縁不良をまねく恐れがあります。

## 1. 端子説明

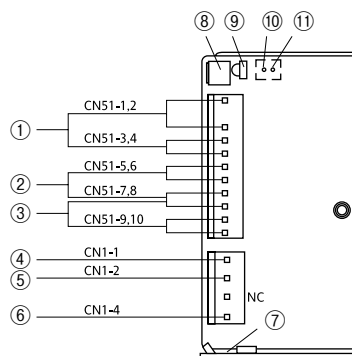
- 入力・出力線の結線は、入力が遮断されている状態でおこなって下さい。
- FG端子は、装置・機器の接地端子に接続して下さい。
- 入力線と出力線は、分離して配線して下さい。耐ノイズ性が向上します。
- リモートON/OFFコントロール線は、ツイストするか、シールド線をご使用下さい。
- コネクタタイプは、1ピンあたり7A以下でご使用下さい。
- コネクタは、指定の型名をご使用下さい。また、ピン圧着はコネクタメーカー推奨の工具・機器をご使用下さい。

### 1 JWS70、100端子説明

#### JWT75、JWT100(ブロック端子タイプ)

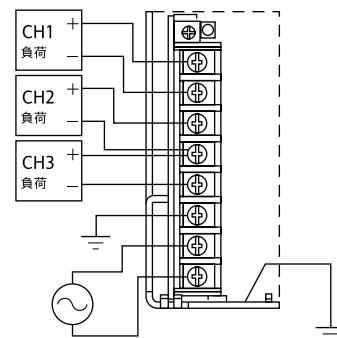


#### JWT75、JWT100(コネクタタイプ)



- ① CH1
  - ブロック端子タイプ
    - V1 : CH1 + 出力端子
    - G1 : CH1 - 出力端子 (G2とは絶縁されています)
  - コネクタタイプ (1ピン7A以下)
    - CN51-1,2 : CH1 + 出力ピン
    - CN51-3,4 : CH1 - 出力ピン
- ② CH2
  - ブロック端子タイプ
    - V2 : CH2 + 出力端子
    - G2 : CH2, CH3 コモングランド端子
  - コネクタタイプ (1ピン7A以下)
    - CN51-5,6 : CH2 + 出力ピン
    - CN51-7,8 : CH2, CH3 コモングランドピン
- ③ CH3
  - ブロック端子タイプ
    - G2 : CH2, CH3 コモングランド端子
    - V3 : CH3 - 出力端子
  - コネクタタイプ
    - CN51-7,8 : CH2, CH3 コモングランドピン
    - CN51-9,10 : CH3 - 出力ピン
- ④ FG : フレームグランド
  - ブロック端子タイプ : FG端子
  - コネクタタイプ : CN1-1
- ⑤ 入力端子 : ライブライン (ヒューズが内蔵されています)
  - ブロック端子タイプ : L 端子
  - コネクタタイプ : CN1-2
- ⑥ 入力端子 : ニュートラルライン
  - ブロック端子タイプ : N 端子
  - コネクタタイプ : CN1-4
- ⑦ 保護接地用取付け穴 (Safety earth) : ⊕
- ⑧ CH1 出力電圧可変ボリューム
- ⑨ 出力表示LED (CH1出力時にグリーンLED点灯)
- ⑩ リモートON/OFFコントロール用コネクタ : +R (オプション仕様)
- ⑪ リモートON/OFFコントロール用コネクタ : -R (オプション仕様)

### 基本接続



保護接地用取付け穴 : 安全規格上の保護接地接続は、M4のねじで底板の ⊕ 取付け穴を使用し、電源実装機器・装置の設置端子に取付けて下さい。

## 2. 機能説明及び注意点

## 1 入力電圧

入力電圧範囲は、単相交流85～265VAC(47～63Hz)または、直流120～330VDCです。規定範囲外の入力印加は、電源の故障をまねく恐れがありますので、ご注意下さい。

## 2 出力電圧可変設定

工場出荷時は、定格直流出力電圧値に設定されています。端子面側のボリュームにより、CH1出力電圧の可変ができます。時計方向の回転により、出力電圧が上昇します。出力電圧設定範囲は、5V～5.25V以内でご使用下さい。ボリュームを回し過ぎると、過電圧保護機能(OVP)が動作し、全出力を遮断することがあります。

尚、出力電圧を上昇させた場合、出力電流は最大出力電力により規定される値まで低減させて下さい。

## 3 入力サージ電流(突入電流)

入力サージ電流防止回路を内蔵しています。パワーサーミスタを使用しているため、通電後の入力再投入や、周囲温度が高い場合には、入力サージ電流が増加します。入力スイッチ等の選択にはご注意下さい。

## 4 ワットボックス WATTBOX

三出力の合計出力電力が、仕様規格の最大総合出力電力以内であれば、自由に組合せができるワットボックス電源です。

総合出力電力 $\geq$ CH1出力+CH2出力+CH3出力

CH1出力：CH1出力電力仕様内

CH2出力：CH2出力電力仕様内

CH3出力：CH3出力電力仕様内

## 5 最小直流出力電流

一つの制御回路で三出力を制御しています。そのため、CH1の最小直流出力電流を流すことで、全出力が安定いたします(CH1の最大直流出力電流値の10%以上です)。CH1無負荷時は、他の出力も安定しませんので、ご注意下さい。

## 6 過電圧保護(OVP)

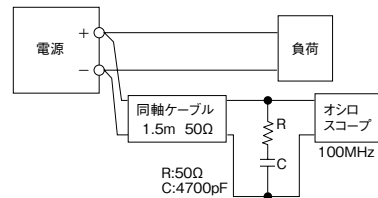
全出力遮断方式手動リセット型です。CH1の出力電圧を検出し、過電圧保護設定値を超えた場合に、全出力を遮断します。OVP動作時は、入力を一度遮断し、数分後の再投入により復帰します。OVP設定値の変更はできません。

## 7 過電流保護(OCP)

定電流電圧垂下方式自動復帰型です。OCP機能は、仕様規格(最大直流出力電流値)の105%以上で動作し、過電流・短絡状態を解除すれば自動的に出力は復帰します。30秒以上の過電流・短絡状態での動作は、お避け下さい。電源の破損をまねく恐れがあります。

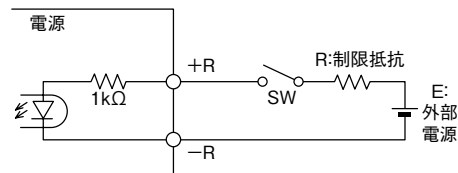
## 3 出力リップル&amp;ノイズ

仕様規格の最大リップル・ノイズ電圧値は、規定の測定回路において測定した値です(JEITA-RC9131に準じる規定)。負荷線が長くなる場合は、負荷端に電解コンデンサ、フィルムコンデンサ等を接続しませんでしたと負荷端でのリップル&ノイズが大きくなる場合があります。なお、測定時オシロスコープのプローブグランドが長いと、正確な測定はできませんのでご注意下さい。



## 9 リモートON/OFFコントロール(オプション)

リモートON/OFFコントロールは、オプション仕様品「R」タイプに内蔵されています。入力印加状態で、全出力電圧一括のON/OFF制御が、外部電圧によりできます。これらの制御は、基板上的コネクタ「+R/-R」を使用します。なお、「+R/-R」は、電源の2次側回路(出力側)です。電源の1次側回路(入力側)では使用できません。また、リモートON/OFFコントロール回路は、出力側から絶縁されています。



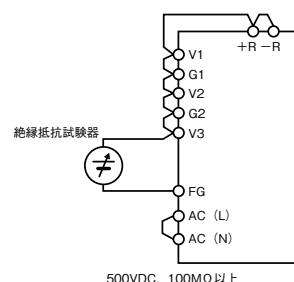
- R & + R 間	出力
SW ON (4.5V 以上)	ON
SW OFF (0.8V 以下)	OFF

外部電源 : E	制限抵抗値 : R
4.5 ~ 12.5VDC	不要
12.5 ~ 24.5VDC	1.5k Ω

## 10 絶縁抵抗試験

出力と筐体(FG)間の絶縁抵抗値は、500VDCにて100MΩ以上です。なお、安全のために、DC絶縁計の電圧設定は絶縁抵抗試験前に行い、試験後は抵抗等で充分ディスチャージして下さい。

## 出力-FG間

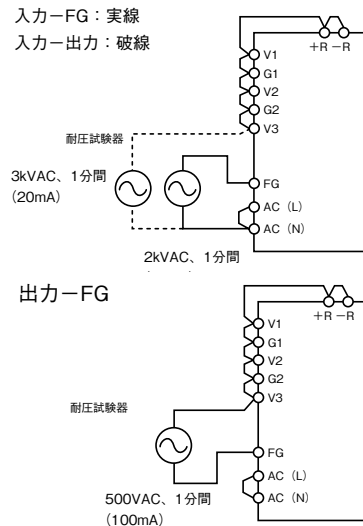


500VDC, 100MΩ以上



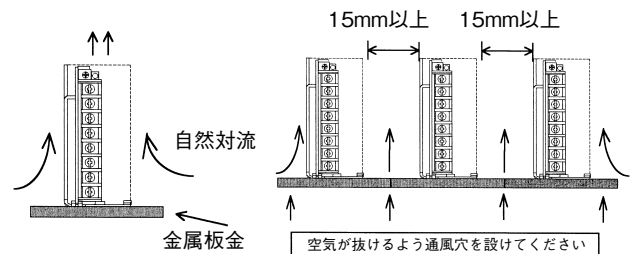
## III 耐圧試験

入力-出力間3kVAC、入力-筐体(FG)間2kVAC、出力-筐体(FG)間500VAC 各1分間に耐える仕様です。耐圧試験器のリミット電流値を20mAに設定後(出力-筐体(FG)間:100mA)、試験を行って下さい。試験電圧は、ゼロから徐々に上げ、遮断時も徐々に下げして下さい。試験時間をタイマーで行う場合、電圧印加・遮断時にインパルス性の高電圧が発生し、電源を破損することがあります。試験時は、下記のように入力側・出力側各々を接続して下さい。出力側開放状態での試験時では、出力電圧が瞬時発生することがあります。



## 3. 取付方法の注意点

- (1) 自然空冷方式の電源です。電源周囲に熱がこもらないように、自然対流を十分考慮し電源の周囲は15mm以上の空間をおとり下さい。複数台使用時の電源間隔も15mm以上の空間をおとり下さい。
- (2) 電源取付けねじの、電源内部への挿入長は6mm以下です。
- (3) 電源取付けねじの推奨締め付けトルク  
M4ねじ：1.27N・m



## 4. 配線方法

- (1) 出力負荷線は、入力線と必ず分離してください。耐ノイズ性が向上します。
- (2) 入力・出力線は、できるだけ太く・短くインピーダンスを低くするようにして下さい。また、シールド線やツイスト線を使用することにより、耐ノイズ性が向上します。
- (3) 負荷端に小容量コンデンサを取り付けると、ノイズ除去

に効果があります。

- (4) FG端子は、安全及びノイズ除去のため、必ず電源実装機器・装置の設置端子に、太い線で接地して下さい。また、安全規格上の保護接地取付け穴(⊕)をご使用下さい。
- (5) 入出力端子ねじの推奨締め付けトルク  
出力端子 (M3ねじ)：0.49N・m

## 5. 外付けヒューズ容量

電源の入力ラインに外付けヒューズを取付ける場合は、下記ヒューズ容量をご使用下さい。入力電圧投入時に、サージ電流が流れるため、耐サージ性の高いタイムラグヒューズ等をご使用下さい。速断ヒューズは使用できません。

なお、ヒューズ容量は、入力投入時のサージ電流(入力突入電流)を考慮した値です。実負荷状態における入力電流値(RMS)から、ヒューズ容量は選定できません。

JWT75, JWT100：3.15A

## 6. 故障と思われる前に

- (1) 入力端子に規定の入力電圧が印加されていますか。
- (2) 入出力端子への配線は、正しく接続されていますか。
- (3) 入出力端子の接続は、規定の締め付けトルクで確実に接続されていますか。
- (4) 配線の線材は、細すぎませんか。
- (5) 出力電圧可変ボリュームは、回しすぎていませんか。過電圧保護機能が動作し、全出力を遮断します。
- (6) リモートON/OFFコントロール端子は、オープン状態になっていませんか。オープン状態では、出力は遮断します。規定の接続がされていますか。
- (7) 出力電流および出力電力は、仕様規格値以上で使用していませんか。
- (8) CH1の最小直流電流を流していますか。CH1の最小直流電流を流すことで、全出力が安定します。
- (9) 入力電圧波形は正弦波交流になっていますか。UPS等を接続され、入力電圧波形が正弦波でなくなると、電源から音の発生する事があります。

***TDK·Lambda***